

梅川 智也（理事・観光政策研究部長）

課題解決型から個性創造型のビジョンづくり、プランづくりを心掛けています。観光振興は多様な主体によって進められます。そのコンセンサスをどう創り上げて合意形成していくか、それには説得の科学＝「計画」が必要です。常に新しい形の「計画」の姿を追求したいと思っています。計画（プラン）は、地域にとって“ゴールではなく、スタート”です。計画をどう実現させていくか…その能力がこれからますます問われていくと考えています。

山田 雄一（主席研究員）

専門領域は、観光地ブランディング。観光は、観光客、事業者、地域コミュニティ、そして地域の環境や文化の相互作用によって形成される活動です。さらに、有限な観光市場の中で観光客を取り合う側面も有しています。観光を地域振興につなげて行くには、こうした競争的環境での持続性について常に考えていくことが必要と考え、各種の調査研究に取り組んでいます。

岩崎 比奈子（主任研究員）

観光産業の裾野は広く、観光地が抱える課題は多岐にわたっています。それらの解決のためには適切な取り組み手法とともに、地域の人々の意識・熱意の高まりと連携が必要です。私共ができることは客観的な視点で、地域の魅力と課題を調査検討し、地域づくりを主体的に進める人々が、よりの確に将来の方向性とその実現に向けた取り組み手法を得られるよう、地域の方々ときちんとコミュニケーションを取りながらお手伝いすることだと考えます。

牧野 博明（主任研究員）

近年、学習要素を含む新たな観光タイプ（ニューツーリズム）の1つとして、産業遺産観光（ヘリテージ・ツーリズム）や産業観光が注目されています。「学習」や「産業」という言葉には非常に重たいイメージがつきまといがちですが、主目的は「旅行」「観光」であり、楽しく過ごせることが最も重要です。そのような視点でのヘリテージ・ツーリズム及び産業観光を提案し、地域の活性化に努めてまいります。

守屋 邦彦（主任研究員）

観光による地域の活性化にとって欠かせない、的確な計画・戦略づくり、及びそれに基づく地域の関係者が主体となった持続的な活動の推進・マネジメントを多く手がけています。また、近年のアジアの経済発展を背景とした人流の拡大に伴い、インバウンド、MICEが大きなテーマとなってきています。大都市や有名観光地だけでなく、地方部の都市・地域がいかにインバウンド、MICEを推進していくべきかを主眼におきながら調査研究に取り組んでいます。

菅野 正洋（主任研究員）

自然や生活文化などの地域の魅力を掘り起こし、学び、伝える一連の取組を、それを担う人たちとの協働により実践しています。それらを通じて感じるのは、観光地域づくりという活動は本質的には「人」が支えるものであるということですが、自分自身もその活動を通じて成長できればと考えています。今後は、地域における観光産業にも着目し、それを改めてとらえ直す試みにも取り組んでいきたいと考えています。

平成29年度

観光地経営講座

地域における連携のあり方を考える ～「パートナーシップ」の構築に向けて

ご案内

公益財団法人日本交通公社は、長年、主に自治体で観光・地域振興に携わるの方々を対象に、「観光基礎講座」「観光実践講座」を開催してまいりましたが、平成26年度より両講座を統合し、「観光地経営講座」を開催しております。

本講座は、時季に合ったテーマについて外部講師を招聘し、当財団の研究員が講師の方々の知見を引き出しながら受講者の皆様とも議論して、より理解を深めるスタイルにて開催いたします。

今年度は、「連携」を取り上げます。

昨今、「日本版DMO」の設立準備にみられるように“組織づくり”に注目が集まっていますが、それに加えて、地域内もしくは地域や業界を越えて、あるいは観光のテーマや分野（例：温泉、スキー等）で方向性を同じくする主体同士が強固な連携関係を築くことが、「観光地経営」の視点からも重要です。

本講座では、観光地経営を担う個々の主体が自立して自らの役割を担いつつ相互に連携する関係を「パートナーシップ」と表現して、その重要性について解説し、地域の誰と、どのようなパートナーシップを築いていくべきか、ご自身の地域における連携のあり方を検討するにあたって、今後の具体的なアクションにつながるヒントを得られる場となることを目指しております。

観光行政のご担当者、観光関連団体、商工会議のご関係者など、観光による地域振興に取り組む皆様のご参加をお待ちしております。

開催概要

- ◆日 時：平成29年7月6日（木）10:30～7日（金）16:45
- ◆会 場：公益財団法人日本交通公社 ライブラリー会議室
〒107-0062 東京都港区南青山2-7-29 日本交通公社ビル
（青山一丁目駅 1番出口もしくは5番出口から徒歩3分）
- ◆主な対象者：観光による地域振興に携わる地方自治体のご担当者、観光関連事業者、商工会議所などのご関係者
- ◆募集人員：30名（お申し込み順）
- ◆受講料：お一人様20,000円／税込（当財団賛助会員 14,000円）
※書籍『観光地経営の視点と実践』（丸善出版）代込
- ◆主 催：公益財団法人 日本交通公社



★申込先・締切

公益財団法人 日本交通公社のホームページからお申し込み下さい。

<http://www.jtb.or.jp>

受付終了後、参加証および受講料請求書を送らせていただきます。

申込締め切り日：6月28日（水）

※定員になり次第、締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

【個人情報取扱について】

- ※ ご記入いただく個人情報は当財団が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。
- ※ 個人情報の取扱につきましては当財団ホームページをご覧ください。

★問い合わせ先

公益財団法人 日本交通公社 観光政策研究部 担当：高橋・岩崎

Tel：03-5770-8430 Fax：03-5770-8359

E-mail：jtbseminar@jtb.or.jp

2017.5.10

7月6日(木) 開講10:30(開場10:00)

開講、オリエンテーション 10:30～10:40

【第1部】観光地経営とパートナーシップのあり方

講義1 観光地経営の要諦となる8つの視点
10:40～12:00 【講師】 (公財)日本交通公社 理事・観光政策研究部長 梅川 智也

『観光地経営の視点と実践』を活用し「観光地経営」の要諦となる8つの視点について、具体例を紹介しつつ分かり易く解説します。

<昼食休憩60分> ※希望者を対象に、当財団が運営する たびの図書館見学ツアーを実施します。

自己紹介タイム
13:00～14:30

受講者の皆様には事前に「自己紹介シート」(所属団体/役職/観光に関わっている期間/現在の課題・問題意識/当講座への期待(最も学びたいこと、期待する講義など)等)を提出いただきます。受講に先立って自らの地域の課題を再確認するとともに、当日、お一人ずつ簡単にお話しいただくことで、受講者間で共有し、課題解決のヒントを見出す一助とします。

<休憩10分>

講義2 観光地における「パートナーシップ構築」の重要性
14:40～15:40 【講師】 (公財)日本交通公社 観光政策研究部 主席研究員 山田 雄一

アメリカにおける「観光地マネジメント」の概念を紹介しつつ、観光ビジョンの共有や着地型の旅行商品開発、資源管理等観光地における受入環境整備に関する「パートナーシップ」の重要性やあり方について解説します。

<休憩10分>

【第2部】様々な連携の事例とパートナーシップ

講義3 「広域、行政主導で進める」連携のあり方～長野県飯山市
15:50～17:20 【講師】 (一社)信州いいやま観光局 大西 宏志 氏

北陸新幹線飯山駅を拠点とした広域の観光情報発信や信越9市町村広域観光連携会議事務局、また信越トレイル造成の中核を担うなど、広域で行政主導の連携を図る事例について学びます。

<休憩10分>

意見交換・交流会
17:30～19:00頃

受講者同士および講師との交流
※軽食・お飲み物を用意しております。

※講師、講義内容、登壇日は、やむを得ず変更となる場合がございます。

7月7日(金) 開講9:00(開場8:45)

導入解説 9:00～9:10

講義4 「漁業×観光、官民で進める」連携のあり方～三重県鳥羽市
9:10～10:40 【講師】 鳥羽市観光課 課長補佐 高浪 七重 氏

農業に比べて連携が難しいと言われる漁業との連携を10カ年の「漁業と観光の連携促進計画」を策定し、取り組みを進めている三重県鳥羽市を例にして、地域の主産業である漁業関係者に対して、観光サイドが行政を巻き込み、観光産業の意義と連携の重要性を訴え、連携を働きかけてきた事例について学びます。

<休憩10分>

講義5 「小規模コミュニティ内の住民も交えた」連携のあり方
10:50～12:20 ～徳島県三好市
【講師】 (一社)そらの郷 事務局次長 出尾 宏二 氏

観光圏という広域連携の中で、集落単位では農家、観光事業者、住民といった小さな主体が連携することで、教育プログラムや外国人向けの体験プログラムの提供、海外へのプロモーション等が地域が一体となって進められている事例を学びます。

<昼食休憩60分>

講義6 「まち・ひと・情報を網羅する、金融を交えた」連携のあり方
13:20～14:50 ～長野県山ノ内町
【講師】 WAKUWAKUやまのうち 監査役 中尾 大介 氏

地元金融機関との連携によって、ファンドの活用、遊休物件のリノベーション、次世代経営者の育成、情報発信等を推進、外国人旅行者の滞在拠点づくりに取り組む事例について学びます。

<休憩10分>

【第3部】より強固なパートナーシップの構築に向けて

総括ディスカッション
15:00～16:30

地域における連携のあり方を考える
～「パートナーシップ」の構築に向けて

【パネリスト】 大西 宏志 氏 高浪 七重 氏
出尾 宏二 氏 中尾 大介 氏

【コメンテーター】 山田 雄一 ((公財)日本交通公社 主席研究員)
【ファシリテーター】 岩崎 比奈子 ((公財)日本交通公社 主任研究員)

各講師の経験(特に失敗談)や知見の交換、受講者との質疑応答を行うことで、「パートナーシップ構築」の重要性についてより深く理解し、今後に向けたアクションのヒントを得ていただきます。

<アンケート記入>

閉講 16:45